

# 住民・行政協働による 地域防災力向上の実践的取り組み

秦 康範<sup>1</sup>・鈴木 猛康<sup>2</sup>・大山 勲<sup>3</sup>・佐々木 邦明<sup>4</sup>

<sup>1</sup>山梨大学大学院助教 医学工学総合研究部（〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11）  
E-mail: yhada@yamanashi.ac.jp

<sup>2</sup>山梨大学大学院教授 医学工学総合研究部（〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11）  
E-mail: takeysau@yamanashi.ac.jp

<sup>3</sup>山梨大学大学院准教授 医学工学総合研究部（〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11）  
E-mail: ooyama@yamanashi.ac.jp

<sup>4</sup>山梨大学大学院准教授 医学工学総合研究部（〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11）  
E-mail: sasaki@yamanashi.ac.jp

大災害に際しては公的防災力には限界があり、地域防災力の向上には自助・共助の推進が不可欠である。しかしながら、地域力の低下が叫ばれているように、少子高齢化、都市化、核家族化が進行する中で、持続的な地域防災力向上の方策は、困難かつ重要な課題となっている。

本研究は、山梨県下の地域コミュニティを対象として、地域住民と行政が協働して地域の防災力を向上させる取り組みとその支援活動を通して、持続的に地域防災力を向上させるためのプロセスを明らかにすることを目的としている。中央市「リバーサイド第一自治会」、富士吉田市「上宿連合自治会」、市川三郷町「市川大門6丁目防災会」の3箇所の地域コミュニティを対象に活動を展開しており、本稿では主に中央市と市川三郷町での取り組みと得られた成果について報告する。

キーワード：リスクコミュニケーション、地域防災力、防災まちあるき